

物流事業者に対する青果物流通に関するアンケート (調査結果)

I. 調査・結果概要.....	1
II. 産地における積込み.....	3
III. 卸売市場における荷下ろし.....	5
IV. 経由便・市場間転送・帰り便.....	10
V. パレット利用.....	12
VI. 荷主への要望.....	16
(参考) 標準パレット化率の推計.....	17

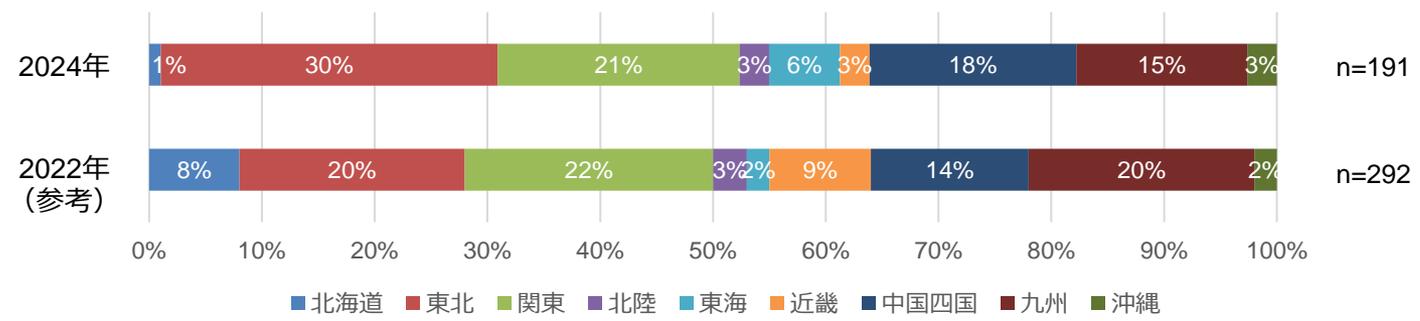
2025年7月

農林水産省新事業・食品産業部食品流通課

I. 調査・結果概要

- 公益社団法人全日本トラック協会の協力を得て、全国191の物流事業者よりwebアンケートに回答いただいた内容を集計（回答期間は2024年11月19日～2025年1月10日）。前回2022年に行った同様の調査と比較。
- 回答者の属性について、前回と比較して
 - 東北や中国・四国の事業者が増加、北海道や九州の事業者が減少。
 - 営業所等の所在地、トラックサイズ・温度帯・種類は概ね同様の構成。

回答者（物流事業者）のエリア別構成比



	2024年回答者構成（2022年回答者構成）	
営業所等の所在地	県域：76%（73%）	広域：24%（27%）
トラックサイズ	大型車：80%（73%）	中・小型車：20%（27%）
トラックの温度帯	冷蔵車：66%（60%）	常温車：34%（40%）
トラックの種類	ウイングボディ：85%（83%）	バンボディほか：15%（17%）

I. 調査・結果概要

(荷待ち・荷役時間)

- ・ **2024年は2022年比で、産地における積込待機・作業時間、卸売市場における荷下ろし待機・作業時間、いずれも1時間以内が増加。**
- ・ 卸売市場における**荷下ろし待機の要因**として、48%が「**トラック到着時間の集中**」を選択。このほか、**バラ積み荷下ろし待ち、荷下ろし場所の分散、荷下ろし作業人員や機材の不足**も多い。

(経路便・市場間転送・帰り便)

- ・ 集荷先数は1か所(27%)と6か所以上(15%)、荷下ろし先市場数は1~2か所(56%)と4か所以上(25%)が増加。
- ・ 帰り便では、**青果物以外**の品目の輸送(62%)や**発荷主と異なる行政区**への輸送(52%)がみられる。

(パレット利用)

- ・ **パレット積みの割合は58.1%→58.4%に微増。11型が最も多いが12型も増加**との結果。
- ・ パレットの積替えやバラ下ろしが生じる要因としては、**発荷主にパレットを返却するため、着荷主が検品しやすい**ためといった回答が多い。

(荷主への要望)

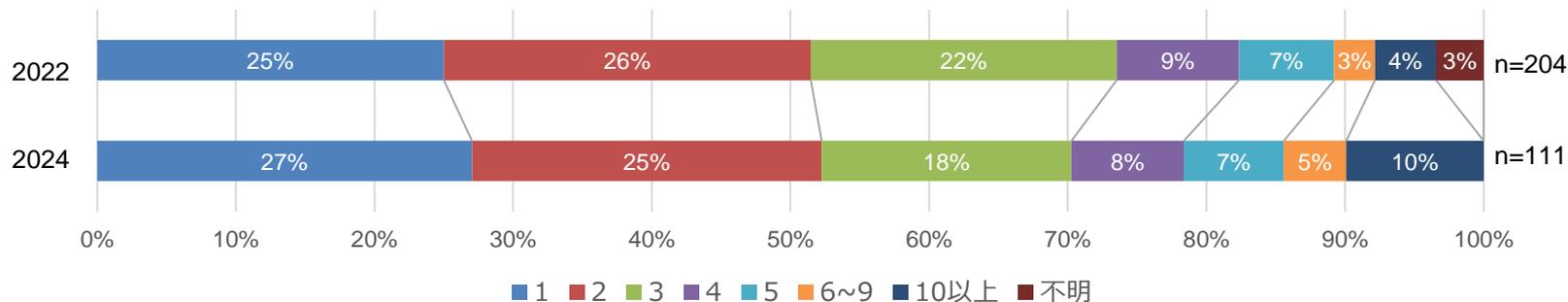
- ・ 回答者の**7割以上が、発荷主に求めることとしてパレット化**を選択。6割以上が、**着荷主に求めることとして荷受けの人的応援**を選択。

II. 産地における積込み

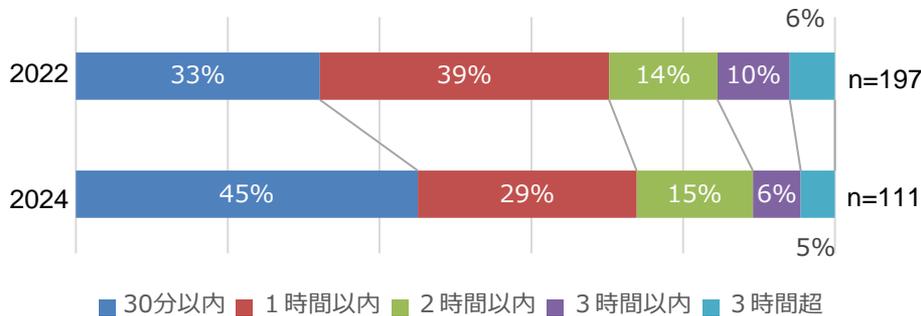
(1) 産地での積込時間について

- ・ 集荷先数は、1箇所（25%→27%）と6箇所以上（7%→15%）が増加。
- ・ 産地での積込待機時間は、「**30分以内**」が33%→**45%**と増加し半数近く。
- ・ 産地での積込作業時間は、「**30分以内**」（6%→13%）と「**1時間以内**」（25%→31%）が増加。

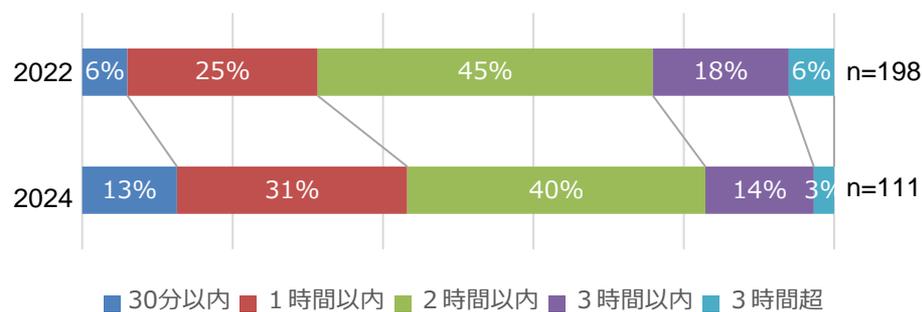
平均的な集荷先数



積込待機時間



積込作業時間

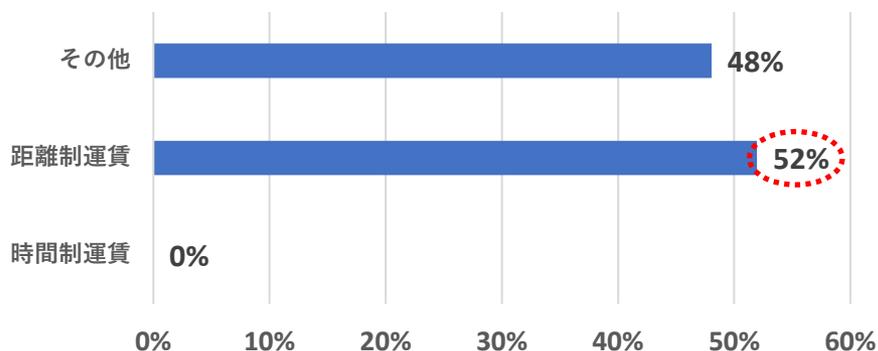


II. 産地における積込み

(2) 産地との契約方法

- ・産地とトラック事業者の運送契約は、52%が「距離制運賃」、65%が「個建て」を採っている。
- ・附帯業務料金について、約7割の事業者が「ほとんど」又は「すべて受領できていない」と回答。

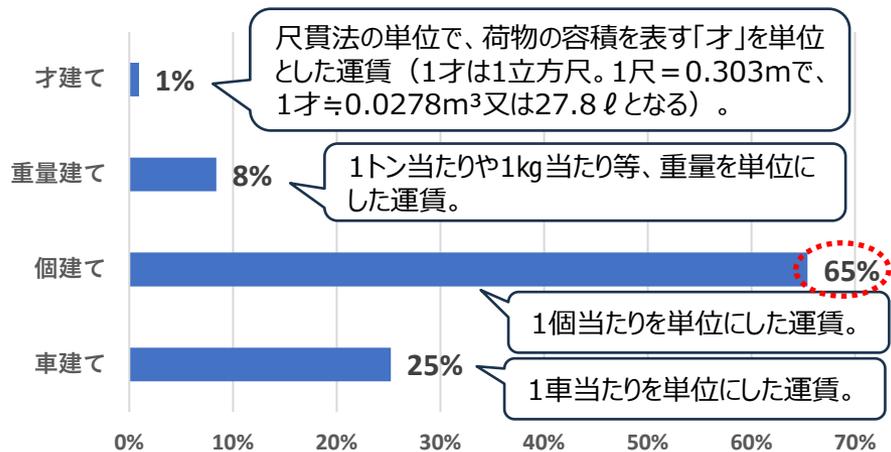
産地（JA）との契約状況



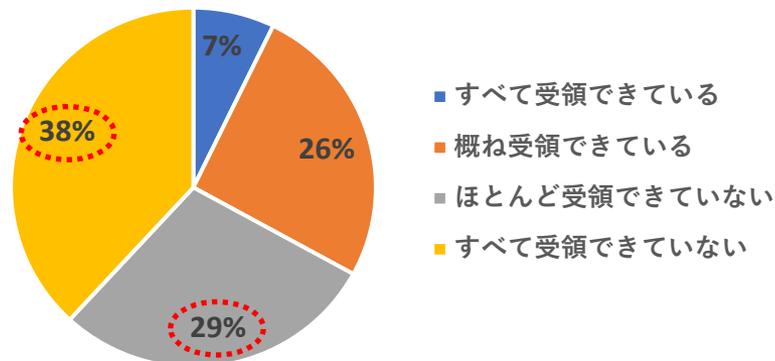
「距離制運賃」：車両を貸し切って運送する場合の、発地から着地までの距離による運賃。

「時間制運賃」：車両を貸し切って運送する場合の、契約した時間による運賃

運賃の算定方法



附帯業務における料金の収受

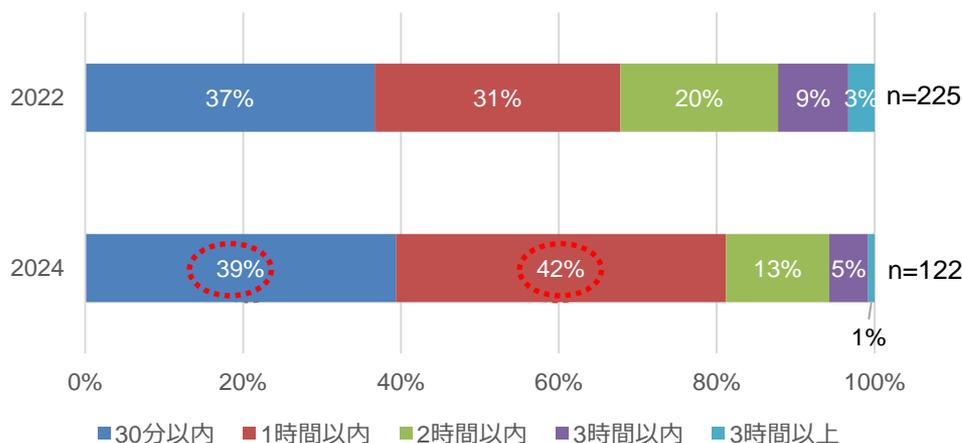


Ⅲ. 卸売市場における荷下ろし

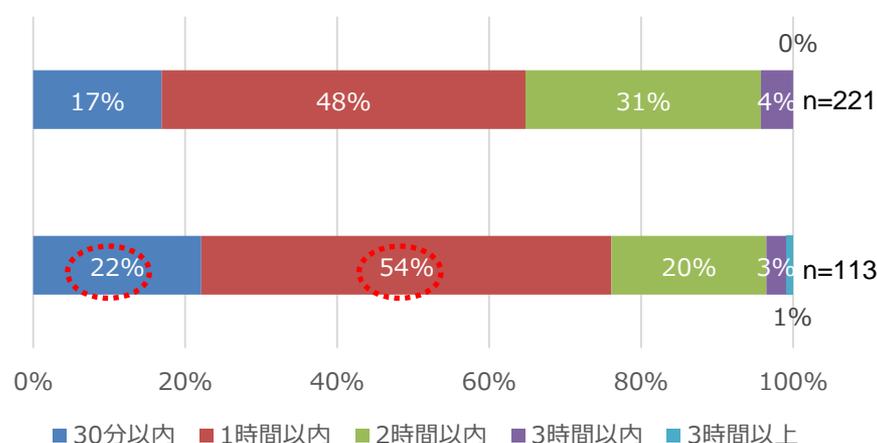
(1) 荷下ろし時間について

- 荷下ろし待機時間は、「**30分以内**」が37%→**39%**、「**1時間以内**」が31%→**42%**と増加。一方、2時間超えも6%と減少したが依然みられる。
- 荷下ろし作業時間は、「**30分以内**」が17%→**22%**、「**1時間以内**」が48%→**54%**と増加。一方、2時間超えも4%と横ばいで見られる。

荷下ろし待機平均時間



荷下ろし作業平均時間



※荷下ろし待機は、作業を除いた時間。

※グラフは各物流事業者における「最も荷下ろし量が多い市場」に対する回答結果。

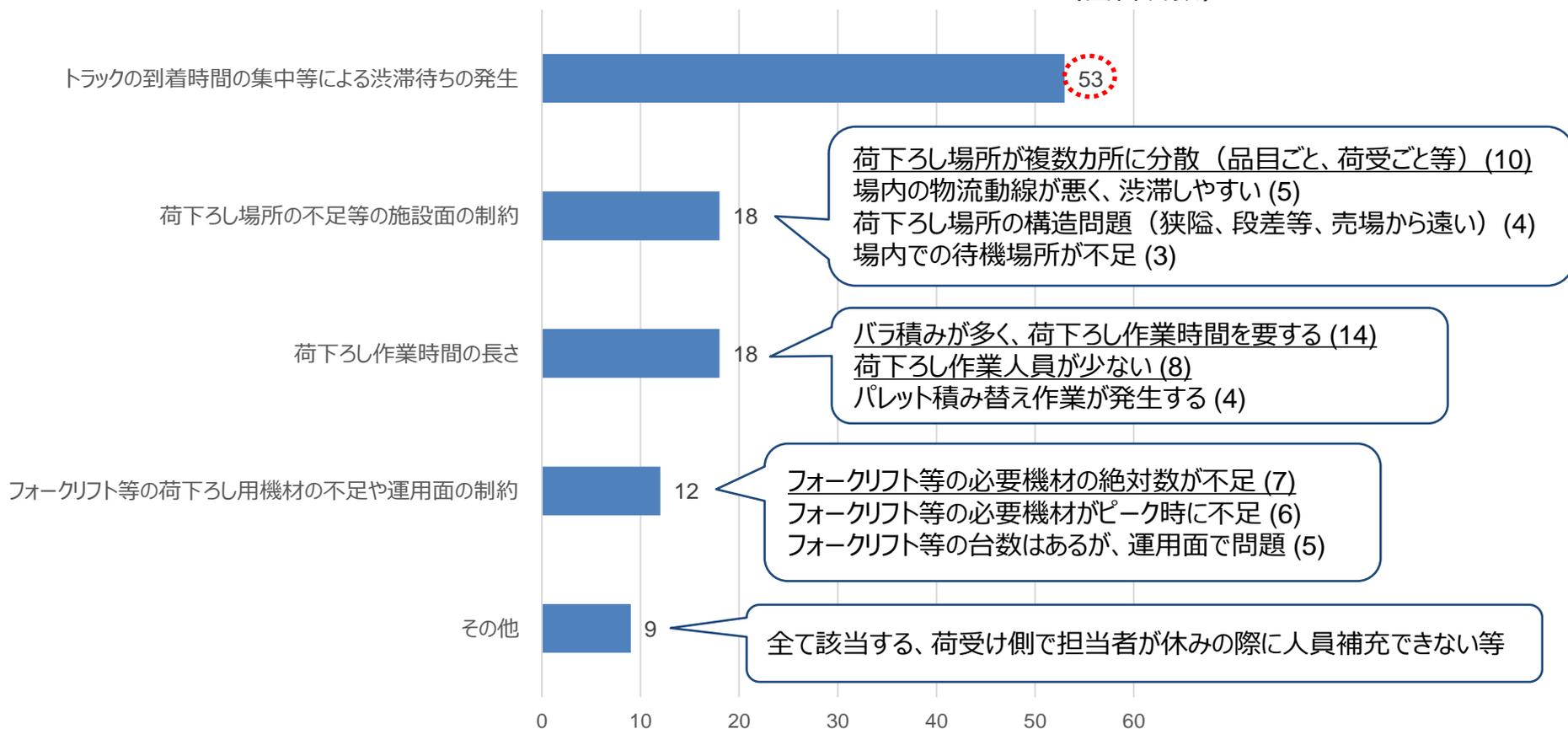
Ⅲ. 卸売市場における荷下ろし

(2) 荷下ろし待機時間発生の要因について

- ・ 荷下ろし待機時間発生¹⁾の要因については、回答者の48%が「**トラックの到着時間の集中等による渋滞待ちの発生**」を選択。
- ・ このほか、「**バラ積みが多く、荷卸しに時間がかかっている**」「**荷下ろし場所が複数箇所に分散**（品目毎、荷受け毎）」「**荷下ろし作業人員が少ない**」「**フォークリフト等の必要機材が不足**」などの回答も多い。

荷下ろし待機時間発生¹⁾の要因

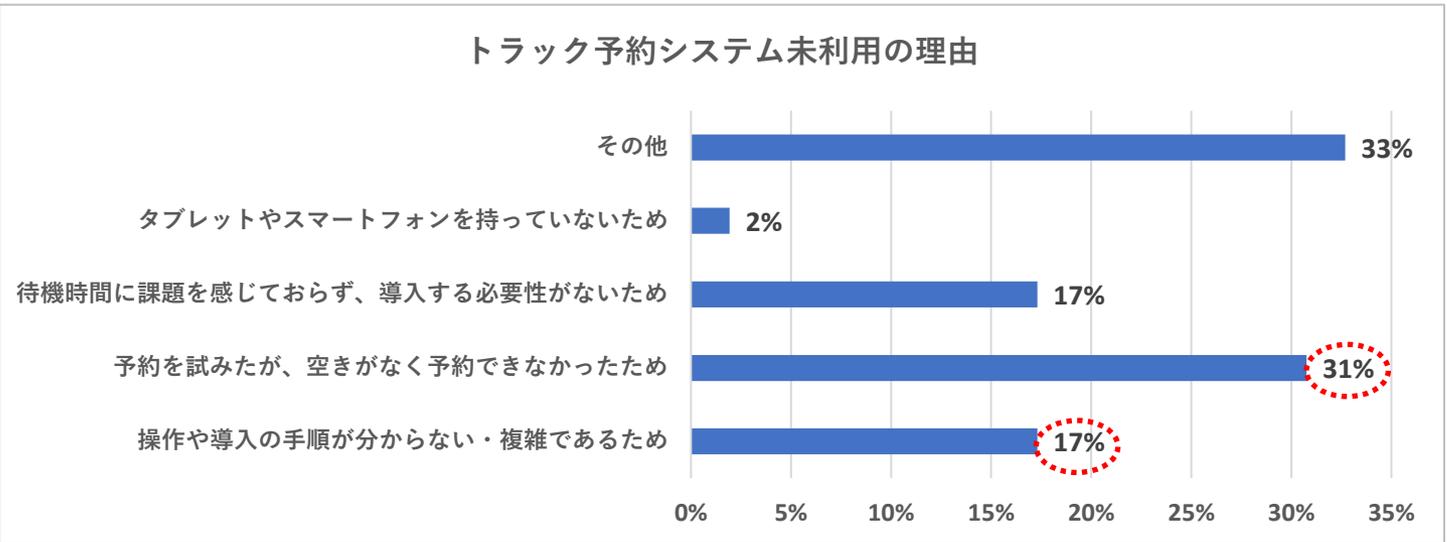
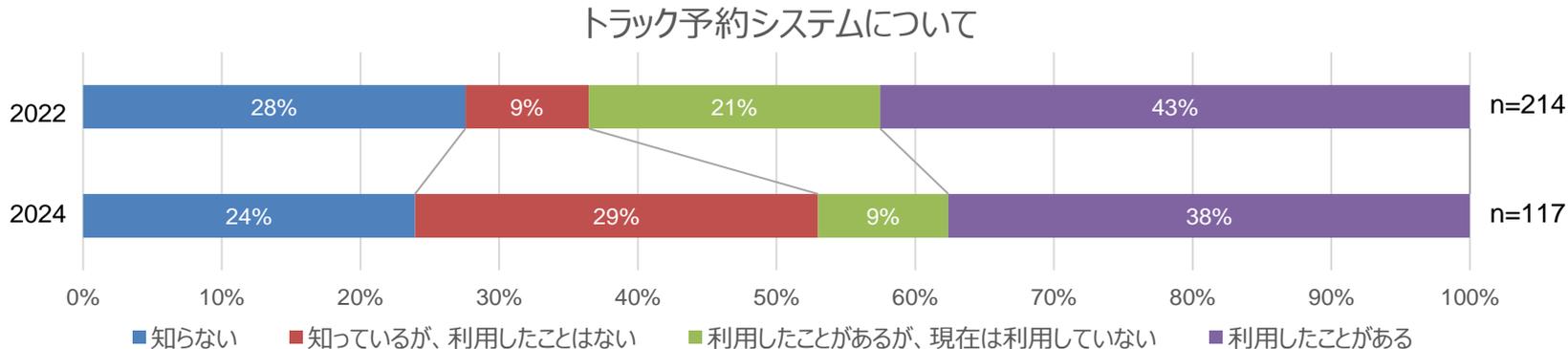
(回答者数)



Ⅲ. 卸売市場における荷下ろし

(3) トラック予約システムについて

- ・**トラック予約システムを「知らない」との回答は、28%→24%に減少。**
- ・**トラック予約システム未利用の理由**については、「**予約を試みたが、空き時間がなく予約できなかった**」が31%と多い。また、17%は「**待機時間に課題を感じておらず**」と回答。



【その他回答（一部抜粋）】

- ・複数箇所を回るなど予約時間が確定できないため。
- ・早く到着しても予約時間まで待つ必要があるため。
- ・システムが導入されている市場に行かないため。

Ⅲ. 卸売市場における荷下ろし

(4) 荷下ろしを避けたい卸売市場・理由

- ・ 荷下ろしを避けたい卸売市場の「理由」についてアンケートをしたところ、70名の事業者より回答。

【特に回答の多かった内容について】

- ・ **待機時間が長い（25件）**
- ・ **混雑している（19件）**
- ・ **市場が狭い（7件）**
- ・ **作業員が少ない（4件）**
- ・ **市場内のルールが未整備（3件）**
- ・ **市場内のルールについて制約が多い（2件）**
- ・ **その他（分荷作業をさせられる、時間予約が機能していない、荷下ろし場所が複数に分かれている等）**

Ⅲ. 卸売市場における荷下ろし

(5) 取扱いを避けたい野菜・果実

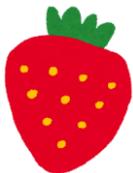
- 取扱いを避けたい野菜として、品種や等階級が多く検品等の手間がかかる「トマト」、重量がある一方で積載率を上げるためにバラ積みが多い「白菜」と回答した事業者が多い。
- 取扱いを避けたい果物としては、品種や等階級の多い「みかん」、傷みやすい「いちご」と回答した事業者が多い。

【取扱を避けたい果実】 (各事業者最大3つまで回答)



みかん (16件)

- …品種や等階級が多い/
箱サイズの種類が多い 等



いちご (15件)

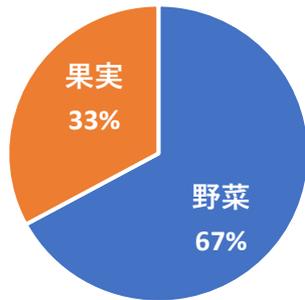
- …品種や等階級が多い/
傷みやすく品質保持が大変 等



りんご (11件)

- …重量がある/バラ積みが多い 等

回答者ごとの平均的な取扱割合
(n=119)



ブロッコリー (4件)

- …容器 (発砲スチロール) の
強度が弱く取扱が大変 等



ながいも (4件)

- …箱サイズの種類が多い/
折れやすく取扱が大変 等

【取扱を避けたい野菜】 (各事業者最大3つまで回答)



トマト (10件)

- …品種や等階級が多い/
箱サイズの種類が多い 等



白菜 (9件)

- …重量がある/バラ積みが多い 等



キャベツ (5件)

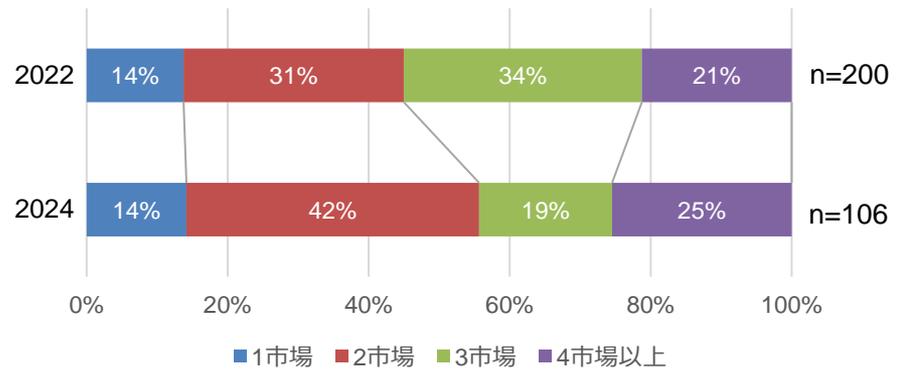
- …重量がある/バラ積みが多い 等

IV. 経由便・市場間転送・帰り便

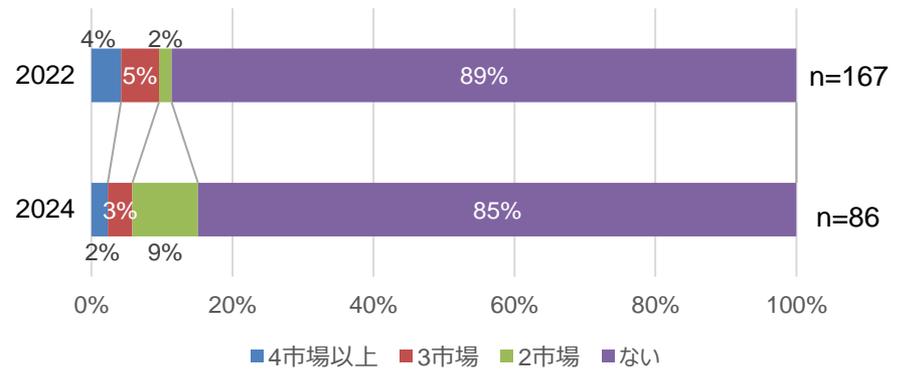
(1) 複数市場での荷下ろし・市場間転送

・ 発荷主から依頼された荷下ろし先の市場数について、「1市場」「2市場」が45%→56%、「4市場以上」が21%→25%と増加しており、連動して「3市場」は減少。
 ・ 複数市場に荷下ろしする事業者のうち「加算料金を取っていない」と回答した割合は、2022年より減少したものの、85%を占める。

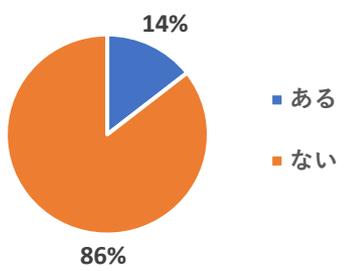
荷卸先平均市場数



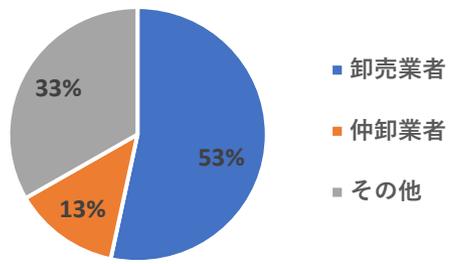
加算料金が発生する荷卸先市場数



市場間転送の有無



転送便の荷主



【その他回答（一部抜粋）】

- ・ 市場の共同配送
- ・ 転送事業者 等

IV. 経路便・市場間転送・帰り便

(2) 帰り便の荷物

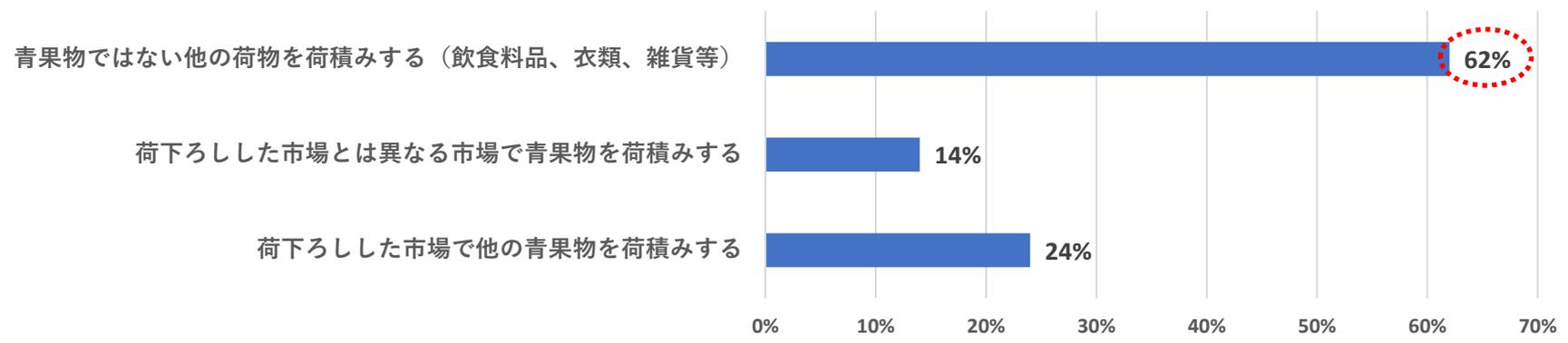
- 帰り便の荷物の有無について、53%が「ある」、47%が「ない」とほぼ同数の回答。2022年は「ある」の方が47%と低かったが、やや増加。
- 帰り便の荷物については、62%が「青果物以外の他の荷物（飲食料、衣類、雑貨等）」と回答。
- 業界や地域を超えて、物流事業者間等での復荷の確保が一定行われているが、実車率向上の余地はなお大きい。

帰り便荷積みの有無



- 帰り便の荷主について、回答のあった55件中、
 - 往路の発荷主と同じ：8件
 - 市場関係者：22件
 - 他業界の荷主や他の物流事業者：21件
- 帰り便の輸送先は、産地の発荷主の所在する行政区域内が47%、区域外が53%

帰り便の荷物

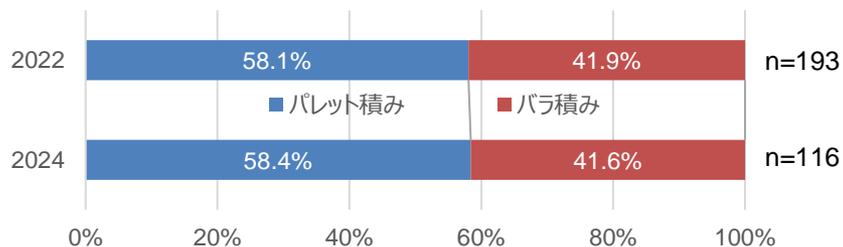


V. パレット利用

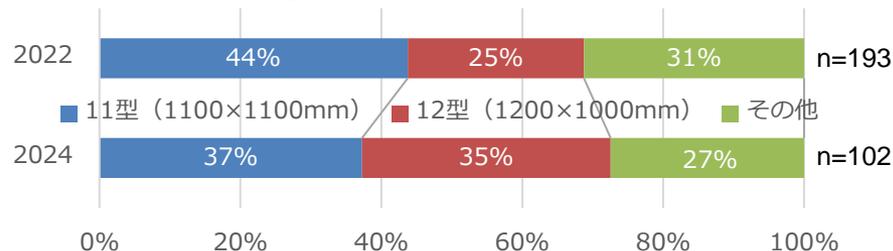
(1) パレットの利用状況について①

- 荷姿の割合について、**58.4%**が「**パレット積み**」と回答し、2022年（58.1%）から微増。
- 最も使用するパレットサイズについて、**37%**が「**11型**」、35%が「**12型**」と回答。
- 使用しているパレットの材質について、「**プラスチック**」との回答割合が25%→**28%に上昇**。
- トラックからの荷下ろし方法は、「**パレット化された貨物を、フォークリフト等でそのまま荷下ろし**」が55%、「**バラ積みの貨物を、パレットに乗せて荷下ろし**」が24%と多い。

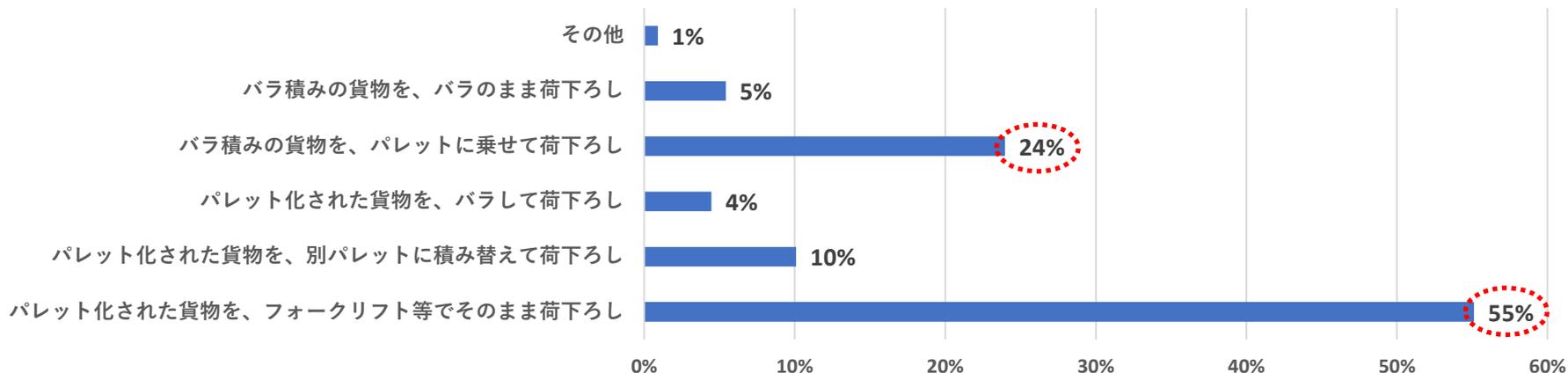
パレット積みとバラ積みの割合



最も使用するパレットサイズ



トラックからの荷下ろし方法（荷姿・荷役方法）



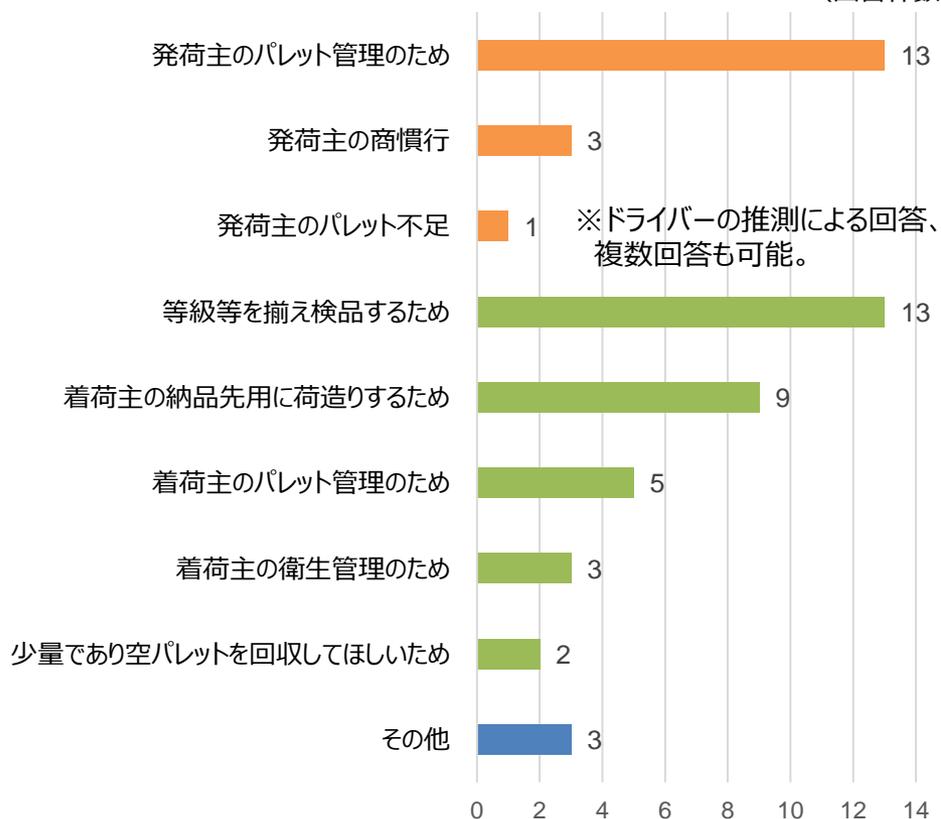
V. パレット利用

(2) パレットからの積替え・バラ下ろし

- ・ 別パレットへの積替えやバラ下ろしを行う理由としては、**発荷主が所有パレットを持ち帰るためや、着荷主が検品しやすい**ようにするためなどの回答が多い。
- ・ 積替えやバラ荷役削減の方策としては、荷主・卸売市場の協力・理解と並んで、業界ごとの**パレット規格の標準化**や**パレットの共有化**などの回答が多い。

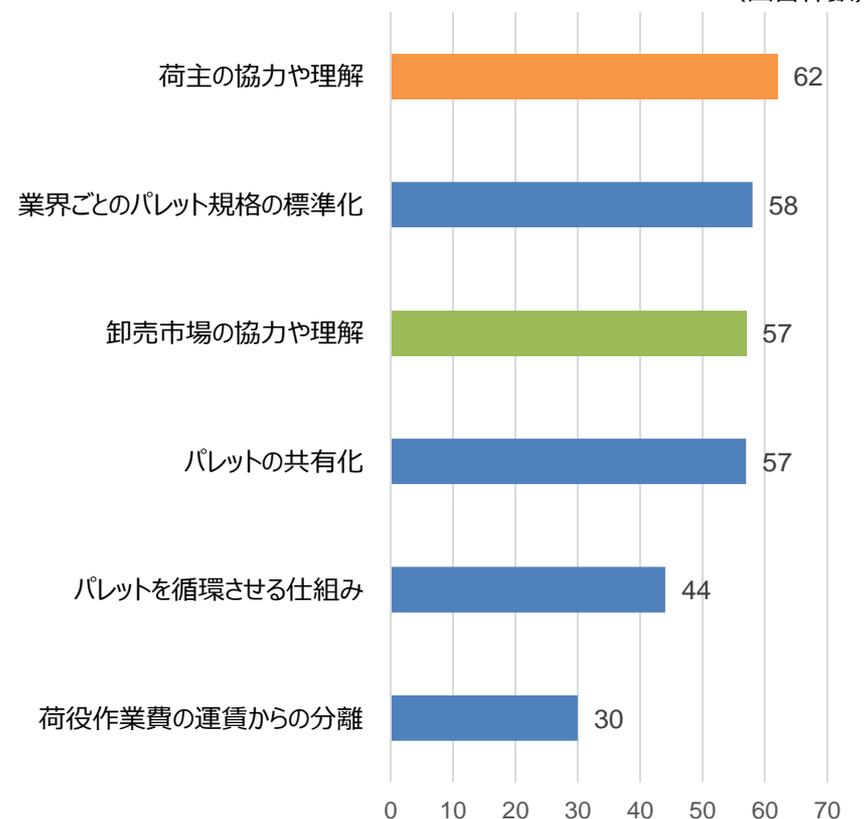
別パレットへの積替え・バラ下ろしを行う理由

(回答件数)



積替えやバラ荷役削減の方策

(回答件数)



V. パレット利用

(3) パレット化への懸念、意見等

設問：パレットサイズの統一化や積替作業の削減について、以下のような課題が挙げられます。
これらのことも含めて、ご意見等がありましたらご自由にお書きください。

課題点 ①パレット流出の懸念、②レンタルパレットシステム普及を阻む要因、
③パレット化のメリットの受益と負担 等

【特に回答の多かった内容について】

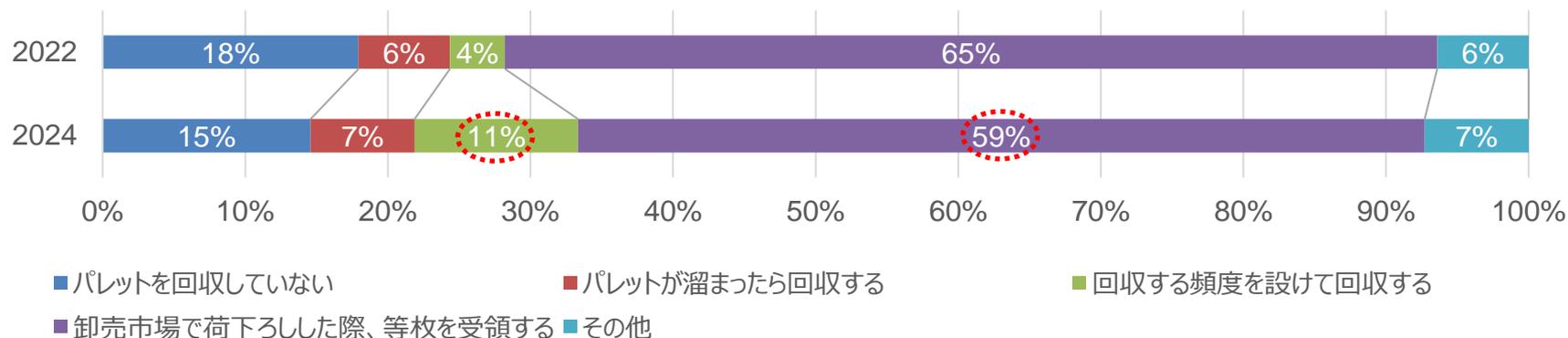
- ・パレットの費用負担の明確化
- ・パレットの盗難・紛失リスク
- ・パレット化による積載効率の悪化
- ・積み荷の箱サイズの統一化
- ・関係者の理解向上、意識改革
- ・パレット回収に伴う帰り荷への影響 等

V. パレット利用

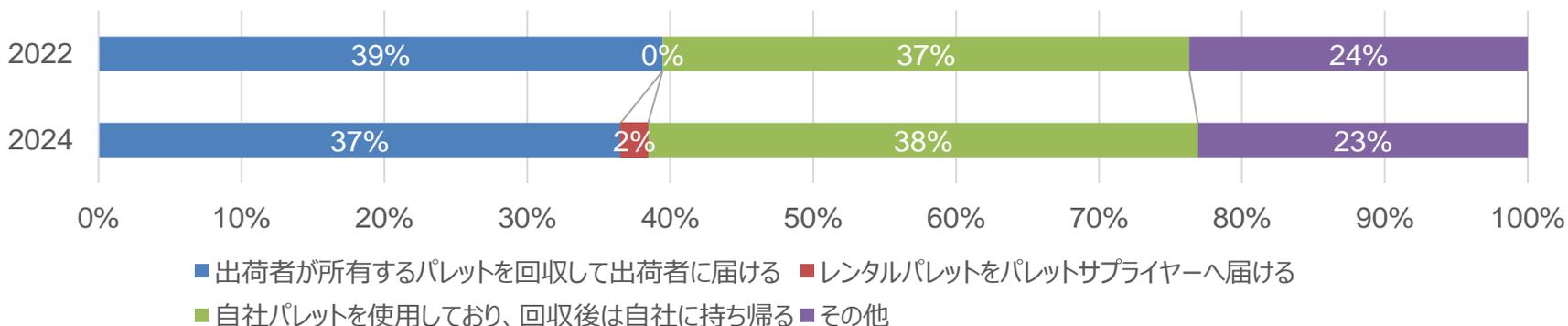
(4) パレットの回収

- ・パレットの回収については、「回収する頻度を設けて回収する」が4%→11%に増加。「卸売市場で荷下ろしした際、等枚を受領する」は前回から減少したものの、59%と半数以上を占める。
- ・回収したパレットの届け先については、「出荷者」(37%)、「自社」(38%)が多い。

パレットの回収

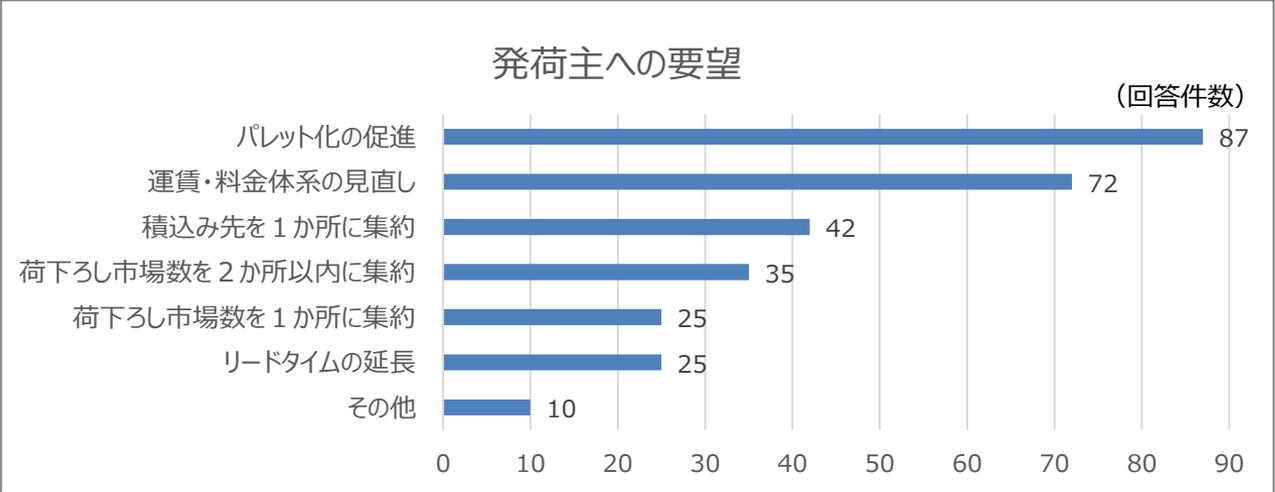


回収するパレットの届け先



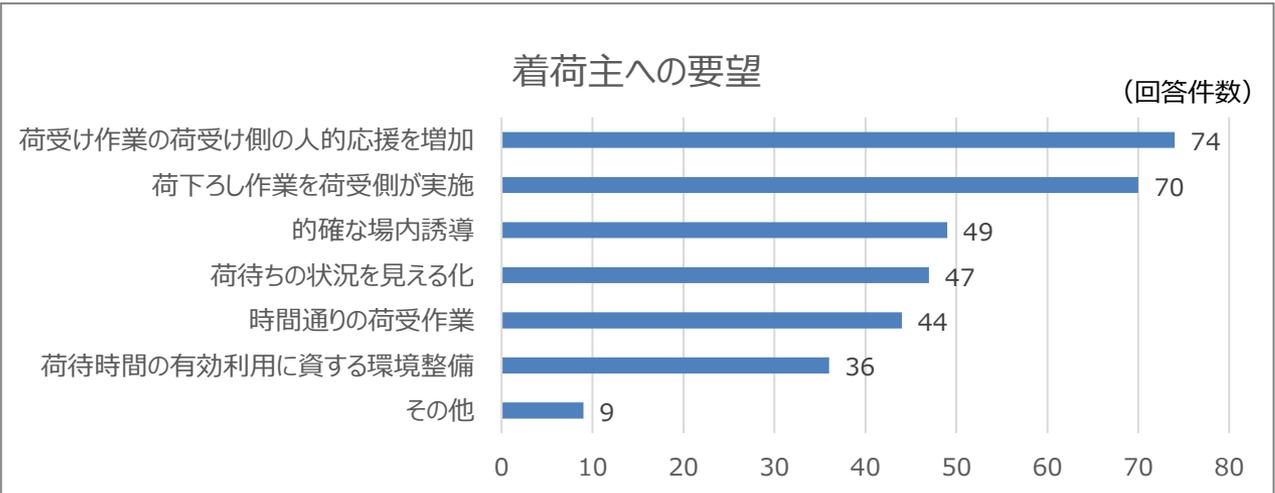
VI. 荷主への要望

- ・ 発荷主への要望については、「**パレット化を促進してほしい**」「**運賃・料金体系を見直してほしい**」などの回答が多い。
- ・ 着荷主への要望については、「**荷受け側の人的応援を増やしてほしい**」、「**荷下ろし作業を荷受側が実施してほしい**」などの回答が多い。



【その他回答（一部抜粋）】

- ・パレット回収をなくしてほしい。
- ・事前のトラック準備台数に責任を持ってほしい。
- ・燃油等コスト高騰に対する転嫁の受け入れ。
- ・小口での卸売市場への配送の改善。



【その他回答（一部抜粋）】

- ・同一市場内での複数荷下ろし（品目や会社別）の是正。
- ・十分な荷下ろしスペース確保。
- ・混雑時における卸売市場内のコントロール。
- ・初心者には複雑なルール（受付、荷待ち、接車等）の解消。

(参考) 標準パレット化率の推計

・ レンタルパレットの貸出枚数から、青果物の出荷量に占める標準パレットでの出荷量の割合を推計したところ、2022年度2.4%から2023年度**3.1%へと上昇傾向**。

	青果物輸送での標準パレット使用枚数 ※ 1	パレット1枚当たり積載量 ※ 1	標準パレットでの出荷量	青果物の国内出荷総量 ※ 2	標準パレット化率
	A	B	C (=A×B)	D	E (=C/D)
R 6 年度	約670千枚 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> プラのみ 約632千枚 </div>	300kg 又は 600kg	約487千 t	※集計中	
R 5 年度	約566千枚 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> プラのみ 約490千枚 </div>		約399千 t	12,929千 t	3.1% <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> プラのみ 2.3% </div>
R 4 年度	約501千枚 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> プラのみ 約224千枚 </div>		約322千 t	13,234千 t	2.4% <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> プラのみ 1.0% </div>

※ 1 レンタルパレット事業者からの情報提供

※ 2 野菜生産出荷統計及び果樹生産出荷統計（農林水産省）